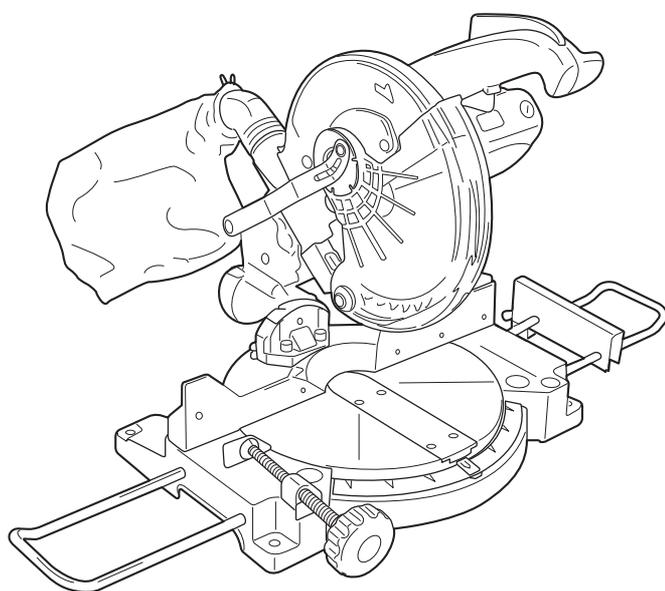


RYOBI

卓上切断機 TS-225

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 6
■各部の名称・仕様	7
■付属品・切断能力	8
■用途・別販売品	8
■ご使用前の準備	9
■操作方法	10 ~ 15
■切断作業	15 ~ 16
■保守と点検	17 ~ 18



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご購入前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・ 不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警告

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。

卓上切断機ご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、卓上切断機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出しますと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は銘板に表示してある径のノコ刃を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、確実に保持してください。
 - ・ 材料の保持が確実でないとビビリなどによる反発や刃物破損が起こりやすく、けがの原因になります。
5. 使用中はノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 切断途中で、ノコ刃を回転させたままハンドルを戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合スイッチを切り、回転が完全に止まってからハンドルを持上げるようにしてください。
7. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前にノコ刃を空転させ、本体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 切断しようとする材料の線の上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し感電のおそれがあります。
7. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
8. 切断作業のときは、傾斜ハンドル、角度調節ハンドルをしっかりと締付けてください。
 - ・ ゆるんでいると本体が振れ、けがの原因になります。
9. スイッチ ON、OFF 時にはハンドル部へ反発がありますので、ハンドルをしっかりと保持してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

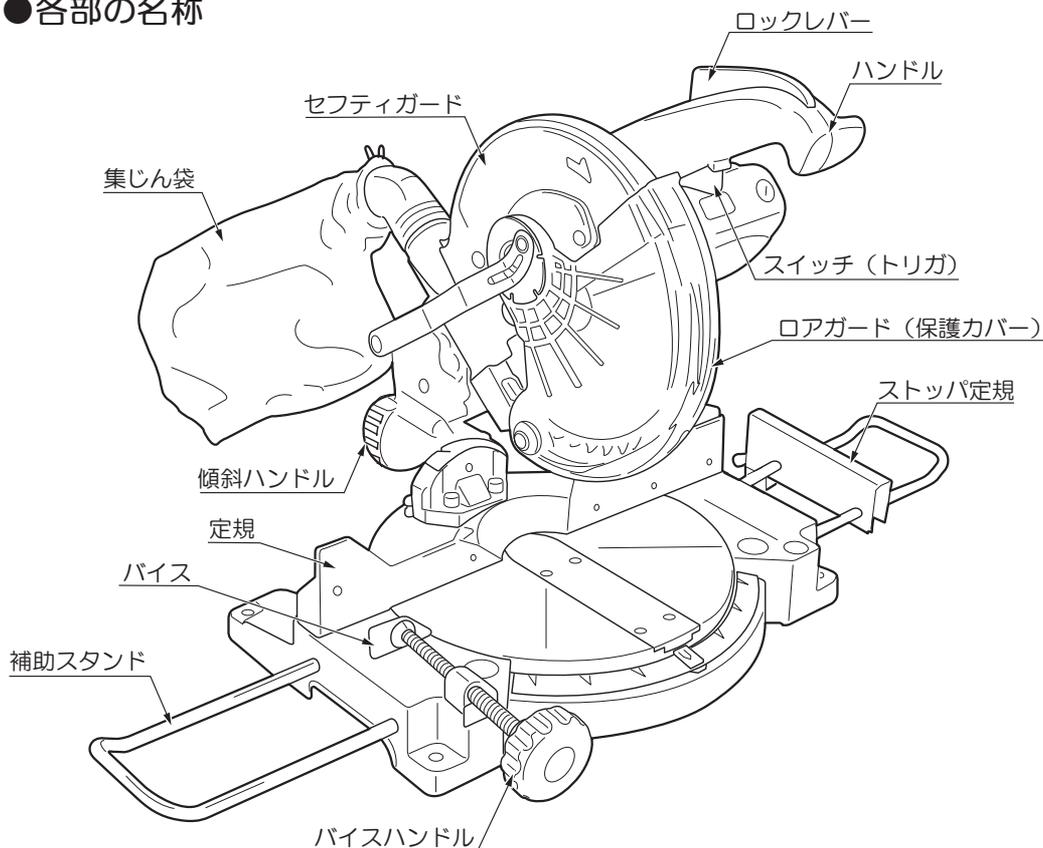
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称・仕様

●各部の名称



●仕様

- ・電源…………… 単相・交流 100 V 50/60 Hz
- ・定格電流…………… 11 A
- ・消費電力…………… 1,050 W
- ・無負荷回転数…………… 5,300min⁻¹
- ・刃物寸法 (外径×内径)…………… 220 × 25.4mm
- ・コード長さ…………… 2.5m
- ・本体寸法 (長さ×高さ×幅)…………… 460 × 400 × 420 mm
- ・質量…………… 8.2kg
- ・絶縁方式…………… 二重絶縁

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・切断能力・用途・別販売品

●付属品

- ・ 補助スタンド（ブラケット、ネジ含む）……………2
- ・ ストッパ定規……………1
- ・ バイス……………1
- ・ 集じん袋……………1
- ・ ノズル……………1
- ・ スパナ……………1
- ・ チップソー（木工用）……………1
（外径）220mm × （内径）25.4mm 刃数 40

●切断能力

テーブル 回転角度	ノコ刃 傾斜角度	最大切断寸法 幅×高さ
0°	0°	140mm × 60mm
45°	0°	102mm × 60mm
0°	45°	140mm × 37mm
45°	45°	102mm × 15mm

* 回転角度 45°、傾斜角度 45° 切断のとき、定規側に板厚 10mm の巾木を使用することにより、45mm × 45mm の材料の切断ができます。

●用途

- ・ 各種木材、アルミサッシの切断。

●別販売品

- ・ チップソー（木工用）（外径）220mm × （内径）25.4mm 刃数 80
- ・ チップソー（アルミ用）（外径）220mm × （内径）25.4mm 刃数 40
- ・ 補助ローラー（RS-50）
- ・ 潤滑オイル



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

ご使用前の準備

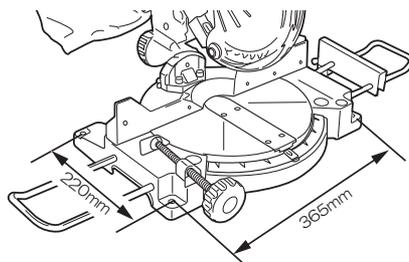
●漏電しゃ断器の確認

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が 30mA 以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●据付け

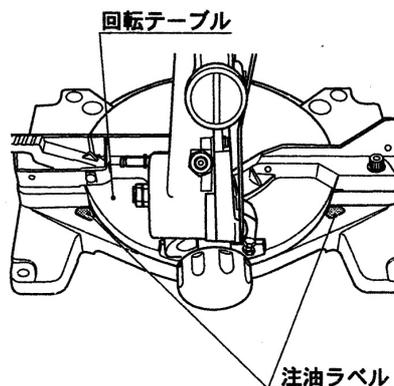
- ・傾斜のない平たんな場所へ、安定した状態に据付けます。

本体を作業台などに固定して据付ける場合は、ベースの据付け穴（4ヶ所、内径 10mm）をご使用ください。固定には M8 のボルトを使用します。



●注油について

- ・回転テーブルの動きを滑らかに保つため、本体後面 2ヶ所の注油ラベル位置から潤滑油（# 32相当 部品コード:6990021 別販売品）を注油し、摺動面に潤滑油がいきわたるように回転テーブルを数回動かしてから、作業を始めてください。



●延長コードを使用する場合

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。右表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さです。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

コードの太さ	最大の長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	20m

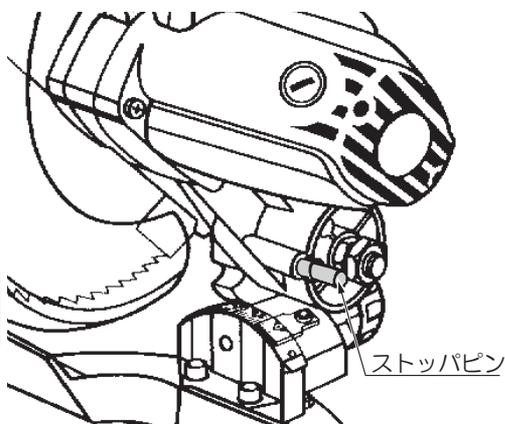
操作方法

●ストップピン

- ・本機には運搬、収納時にハンドルを固定するためのストップピンがついています。
- ・固定方法はハンドルを下げ、フレームの横についているストップピンをブラケットのストップ穴に押し込んでください。使用する時は、ハンドルを少し下げストップピンを引出した後ご使用ください。



ストップピンを外す時は、ハンドルを持ち、跳ね上がらないように注意してください。



●ノコ刃の取付け、取外し

⚠ 警告

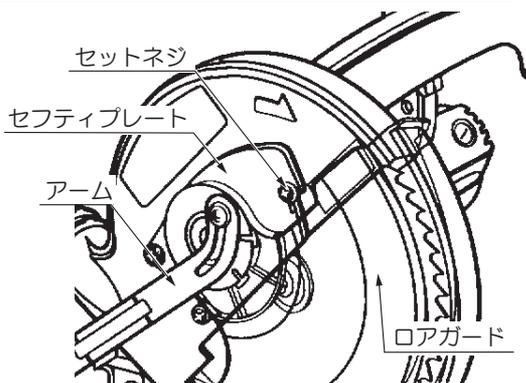
- ・ノコ刃の取付け、取外しの前に、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ノコ刃は銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。

⚠ 注意

- ・ノコ刃や付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。ノコ刃が破損し、けがの原因になります。

(取付け)

1. ⊕ドライバーでセットネジをゆるめませう。
セフティプレートが持上がるまでゆるめてください。
2. ロアガードを少し持ち上げ、アームを押し上げて引っかかりを外した後、ロアガードとセフティプレートと一緒に持ち上げます。



操作方法

3. スピンドルロックを押した状態にして、付属品のスパナで座付六角ボルトをゆっくりと回し、スピンドルを固定してください。
4. 付属品のスパナで座付六角ボルトをゆるめ、座付六角ボルト、外フランジを取外します。
5. スピンドルに内フランジ、丸ノコカラー、ノコ刃、外フランジの順に取付け、座付六角ボルトをねじ込みます。ノコ刃の内径と内フランジ、丸ノコカラーが正しくセットされていることを確認してください。



- ・ 外径が 220mm のノコ刃のみ使用してください。
- ・ ノコ刃の向きがセフティガードの矢印の回転方向に合っているか確認してください。

6. 付属品のスパナで座付六角ボルトを強く締付けてください。



締付け後は、スパナを取外してください。

7. ロアガードとセフティプレートを元に戻し、セットネジを⊕ドライバーで締付けてください。

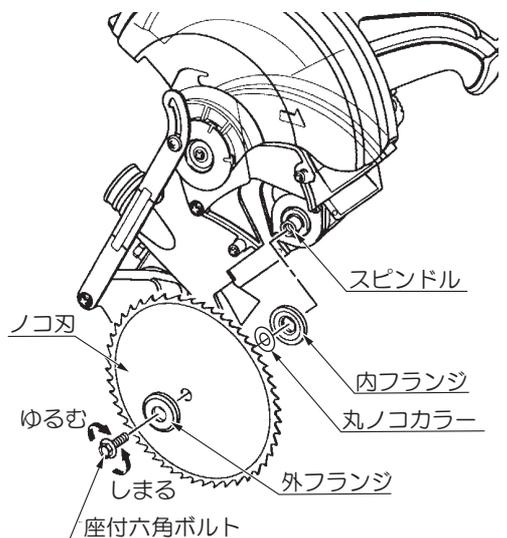
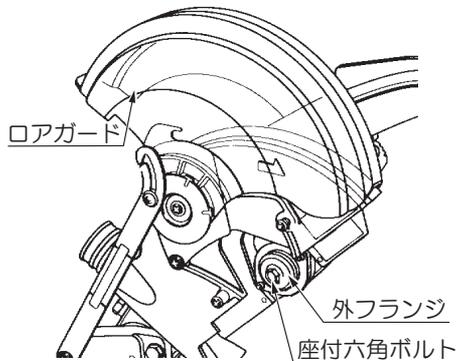
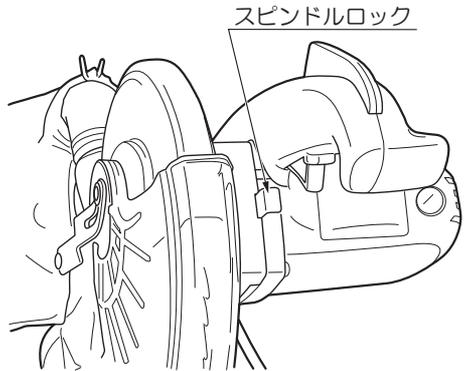


セットネジは確実に締付けてください。セットネジの締付けが確実にないとロアガードが円滑に作動しません。

8. ノコ刃の取付けが完了しましたらスピンドルロックが元の位置に戻っているか確認してください。

(取外し)

- ・ 取外しは、取付けの逆の手順で行ないます。

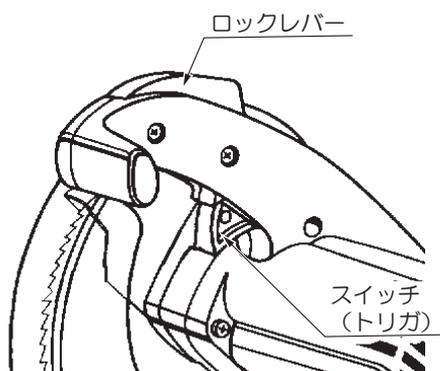


●スイッチの扱い方

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ロックレバーを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- 本機はセフティスイッチを採用しています。ロックレバーを押さなければスイッチは入りません。
- スイッチ操作は、ロックレバーを押した状態でトリガを引けばスイッチは入ります。切るときはトリガを放すだけでスイッチは切れます。
- スイッチを切るとブレーキが働き、すばやくノコ刃が停止します。

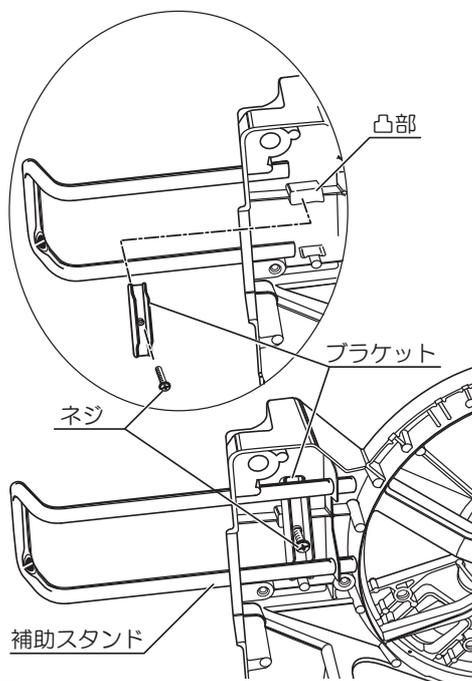


●補助スタンドの取付け

- 長尺材の切断は付属品の補助スタンドに載せると楽に切断できます。
- 取付け方法は、ベースの裏側の凸部にブラケットをセットし、ベース側面（左右）の取付穴から補助スタンドをさし込みます。
- 補助スタンドをブラケット両端のくぼみに合わせ、ベース裏側の取付穴に通します。ブラケットをネジで締付けて補助スタンドを固定します。



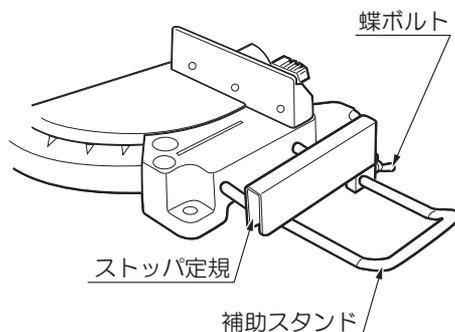
補助スタンドは必ずベース裏側の取付穴まで通してください。



操作方法

●ストップ定規

- 材料を同一寸法に切断する場合は、ストップ定規を使用しますと便利です。
- 取付けは、補助スタンドにストップ定規をさし込み補助スタンドを前述の方法にて本体に固定します。
- ストップ定規を蝶ボルトで固定します。
- ストップ定規を使用しない時は、蝶ボルトをゆるめて手前側に倒してください。

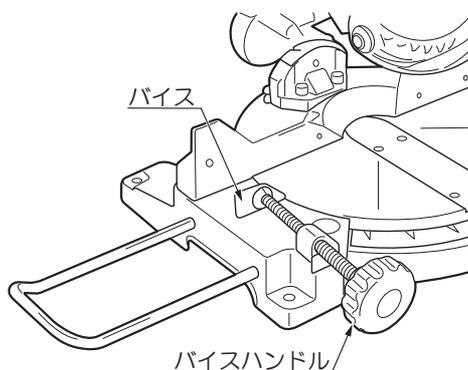


●バイス

- バイスは左右どちらにでも取付けられます。使い勝手の良い方にセットしてください。
- バイスは材料の浮上りを押さえるものです。軽く材料を押さえる程度にバイスハンドルを締付けてください。

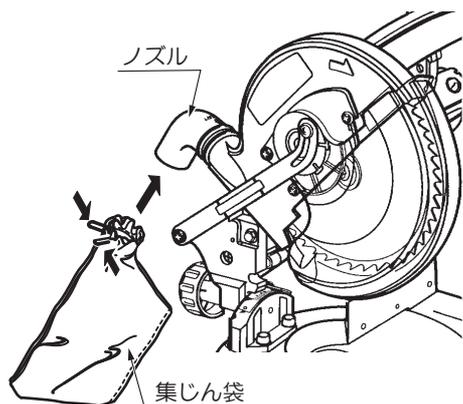


強く締付けますと切断部の浮上がりや、定規部の変形の原因になります。



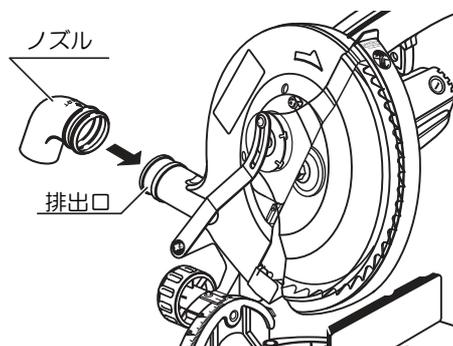
●集じん袋の取付け

- 集じん袋を取付けて作業を行ないますと、切屑は集じん袋の中に収納され衛生的な作業が行なえます。
- 集じん袋の取付けはまず、ノズルを排出口にさし込みます。
- 集じん袋の口金を摘んで口を拡げ、ノズルに取付けてください。



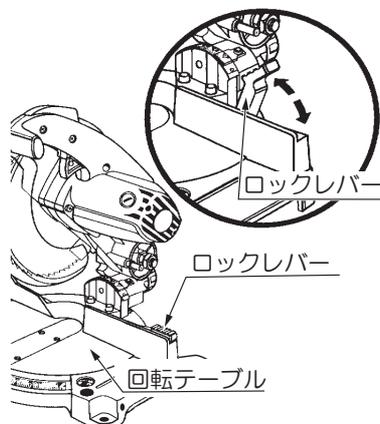
●ノズルの取付け

- ・集じん袋を使用しない場合にもノズルを付けて使用することにより切屑の飛散方向がコントロールできます。



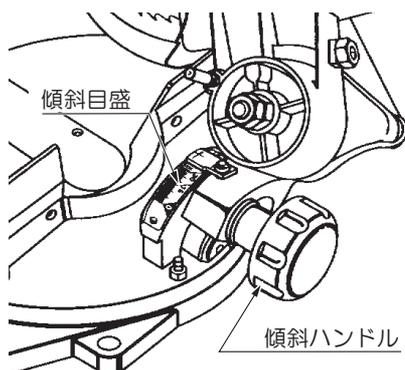
●角度調節

- ・角度調節を行なう場合、 0° 、 22.5° 、 30° 、 45° ではロック機構が働きます。ロックレバーをゆるめて（上に持ち上げる）、ハンドルを回します。回転テーブルが固定される位置でロックレバーを押下げ、締付けてください。
- ・ 0° 、 22.5° 、 30° 、 45° 以外の角度にセットする場合は、ロックレバーをゆるめてハンドルを動かし、角度指示板を目盛上の加工角度に合わせた後、しっかりとロックレバーを締付けてください。



●傾斜切断

- ・本体後部の傾斜ハンドルをゆるめればノコ刃（本体）を左に $0 \sim 45^\circ$ の範囲で傾斜させることができます。
- ・必要な角度に傾斜させた後、傾斜ハンドルをしっかりと締付けてください。



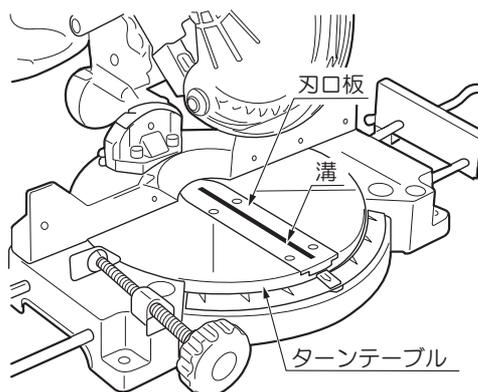
操作方法

●刃口板の溝入れ

⚠ 警告

- ・スイッチ ON、OFF 時にはハンドル部へ反発がありますので、ハンドルをしっかり保持してください。

- ・回転テーブルには刃口板がついてます。スイッチを入れノコ刃の回転が十分に上がってからハンドルを静かに降ろして刃口板に溝を入れてください。この時、回転テーブルにノコ刃が触れないように十分注意してください。



切断方法

⚠ 警告

- ・ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。ノコ刃が露出しますと、けがの原因になります。
- ・材料は確実に保持してください。材料の保持が確実でないとビビリなどによる反発や刃物割れがおこりやすく、けがの原因になります。
- ・使用中はノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切断途中でハンドルを戻そうとすると強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合は、スイッチを切り、回転が完全に止まってからハンドルを持上げてください。

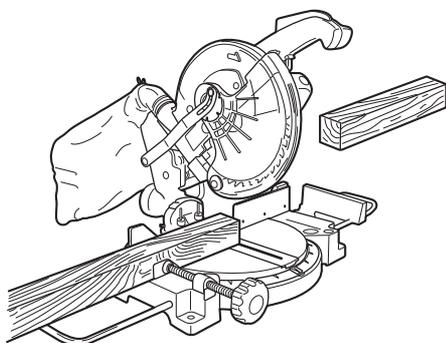
⚠ 注意

- ・材料に釘などの異物がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく反発により思わぬけがの原因になります。
- ・回転するノコ刃でコードを切断しないように注意してください。感電のおそれがあります。

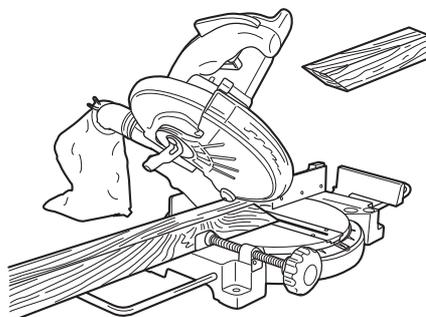
1. 必要な位置に角度および傾斜の調整を行ないます。
2. 材料をテーブル面にのせ、バイスまたはクランプなどで保持します。
3. スイッチを入れ、ノコ刃の回転が十分に上がってからゆっくりと切込みを始めます。
切斷が終わった位置でトリガを放しノコ刃の回転が完全に停止してから、ハンドルを
持ち上げ元の位置に戻してください。
4. 1回の切斷が終わるたびにトリガを放し、ノコ刃の回転が完全に停止するのを確認した
上で切斷片を取除き、つぎの段取りに移ってください。



切落とし側が小さい場合は切斷後、ノコ刃を回転させた状態でハンドルを上
にあげますと、切落とした材料が回転しているノコ刃に接触し、切斷物が飛散し
たり、ノコ刃を損傷させるおそれがありますので、特に注意してください。



(直角切斷)



(傾斜切斷)

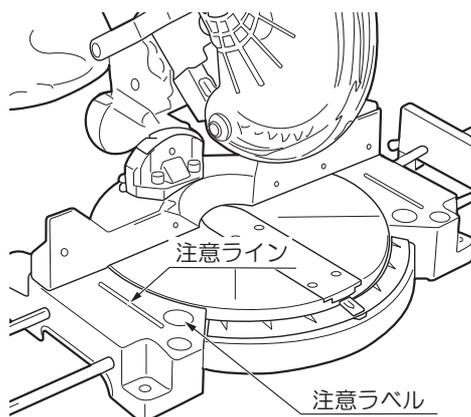
注意ラベルと注意ラインについて

ベースの左右に注意ラベル、注意ラインがあります。これは、切斷中にこの注意ラインより内側（刃物側）に手、指を入れないようにしてくださいという印です。

材料を手で支える場合にも、ラインの外側に支えてください。



注意ラベル



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●ノコ刃の点検について

- ・切れ味の悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに目立てするか、新品と交換してください。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

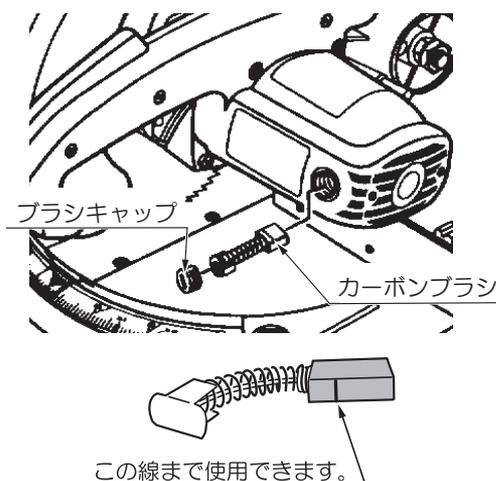
- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシが全長の1/3以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら、新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのままご使用になりますと、モーター損傷の原因になります。
- ・カーボンブラシの交換は、⊖ドライバーでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●修理について

- ・ 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、以下のQRコードまたはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>



※ リョービ販売株式会社は京セラインダストリアルツールズ販売株式会社に社名を変更しました。